

3年 | ^{こじま} ^{なお} 小島 菜緒さん [岡山県立津山高等学校 出身]

■ 願書も面接も“自分の言葉”で表現

小学生の頃から英語を習っていたことをきっかけに「多文化共生社会」に興味を持つようになり、それが学べる鳥大の地域文化学科を進学先を選びました。AO入試を勧めてくれたのは陸上部の顧問の先生。人と話すのが好きな私の性格を「AO向き」と見抜き、試験についていろいろ教えてくれました。

志望理由は書きたいことが多すぎて削るのに苦労。テンプレートみたいな文章にならないよう、自分らしさ、思いの強さを出すよう心がけました。1次選考では、丸暗記していった志望理由を途中で忘れしてしまい、かなり焦りました。丸暗記ではなく、キーワードを押さえて会話調に話すことが大切です。

■ グループ討議では発言力と協調性を見せる

自分を最大にアピールできる「自己表現」の試験は、1次選考の結果が出る前から準備を開始。私は、陸上部でケガをした時の経験を英語でスピーチ。もう一つ、スケッチブックに言葉や図を書いて、めぐりながら日本語と英語の違いについてプレゼンもしました。学校の授業でプレゼンする機会などはなかったけど、実はパワーポイントを作ることや授業のノートをまとめるのが得意。それが役立ちました。

グループディスカッションでは柔軟性が大事。他の人の意見を聞いて途中で自分の意見が変わってもいい、独りよがりにならないようにしましょう。2次選考の個人面接では課題論文の内容も問われます。書いたことを忘れないように。

■ 平成28年度AO入試で求める人物像

募集人員(予定) : 4人

【趣旨】 様々な地域の文化(言語・文学・歴史など)の特性を深く理解しつつ、地域文化の継承・発展に寄与できる人や、国際的な視野をもって活躍できる人の育成を目標としています。このため、これらの領域における意欲、資質、能力を多様な観点から総合的に評価するAO入試を実施します。

次のいずれかに該当する意欲ある人を求めます。

- 地域固有の文化・伝統に関心があり、その文化資源の継承、発展を地域の人々とともに進めたいと思う人
- 国際的・実践的なコミュニケーションの力を身につけ、広く社会に貢献したいと思う人

個性的なカフェでまったり

鳥取はオシャレなカフェが多く、よく女子同士で集まっておしゃべりしています。お気に入りには白兎海岸沿いにある「Sunset Cafe」。青い海の眺めと特製チーズケーキにいつも癒されています。



平成27年度AO入試 第2次選考 < 選抜のポイント、面接・論文等の出題例等 >

平成27年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。

平成28年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

全体を通して求める力

文化、地域、国際交流など地域と文化に関する分野に関心があって、他者の話によく耳を傾けて理解しようとする姿勢や深く考えを掘り下げる姿勢、それらをわかりやすく表現する力を求めます。

自己表現	「自己の知識や経験等」に関する自己アピールを、1人あたり15分で行いました。
課題論文	「性同一性障害」に関する2つの資料(A4版で3枚)を読み、90分で設問(1問)に対して自分の考えを論述するものでした(800字~1,200字以内)。
グループディスカッション	「日本の移民政策」に関する資料(A4版で1枚)を読んだうえで、1グループ8名で、150分のグループディスカッションを行いました。進行は教員が行いました。
個人面接	3名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。